

路地百選推薦書【No. 2 1 1】

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	昭和の猫町にゃにゃまがり（七曲り）
所在地	東京都青梅市仲町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

青梅駅広場から青梅街道へ向かい最初の横道を入った横丁には「昭和の猫町にゃにゃまがり」がある。「にゃにゃまがり」本当の名称は七曲りと言うらしく、名のとおり七つ曲がる道である。入り口の「にゃにゃまがり」のアーチをくぐると、道幅は1メートル以内で、狭く直角に曲がっている路地が続いている。塀に囲まれた長細い場所に閉じ込められたような錯覚に陥る場所である。この路地を通り抜けるのには、それを七回繰り返すのである。ところどころに猫のオブジェがあり、目を楽しませてくれる。出口には入り口の看板がある。誰が何の目的で、始めたのかかわからないが、青梅には猫が多くいるのだ。

【写真添付】



上：入り口のアーチ 右上：出口にある入り口の看板
左上・左下・右下：猫のオブジェ

路地	面積	約 ha	路地の延長	約 100 m
まちの成り立ち、特色等の概要	まちの成り立ち、特色等	東京都西部の市で、関東山地と武蔵野台地にまたがり、中部を多摩川が東流する。中心市街は多摩川の谷口集落で青梅街道の宿場町として発達、青梅線が走っている。古くから綿織物が差盛んで、青梅縞、青梅綿が知られ、第2次世界大戦前まで夜具地を多く生産した。だるま市や青梅大祭は有名で、御岳神社、吉野梅郷があり、西部は秩父多摩甲斐国立公園に属する。1967年に始まった青梅マラソン(2月)には海外からも含めて15000人が参加し、日本最大のマラソン大会となっている。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。